

令和7年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・既習事項を宿題やタブレットで反復練習させたことで、計算の定着が図れた。
- ・児童同士でノートをもとに伝え合う活動を取り入れ、考えを深めたり広げたりすることができた。
- ・デジタル教科書を操作しながら提示したことで、児童の考えを深める手助けになった。

(2) 課題

- ・具体物を使ったり、ノートを見合ったりして、考えを深めたり広げたりすることはできたが、それを自分の考えとして活用したりするという点では個人差がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）△目標値を上回っているポイント▼目標値を下回っているポイント

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度▼	/	/
第5学年	知識・技能 △ 思考・判断 △ 主体的な態度△	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度△	/
第6学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度▼	(第5学年時) 知識・技能 ≍ 思考・判断 ▼ 主体的な態度▼	(第4学年時) 知識・技能 △ 思考・判断 ▼ 主体的な態度△

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・3回繰り上がりがある3桁 + 4桁 = 4桁の計算ができていない。 ・大きい数の相対的な大きさの理解が十分にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算をして余りを切り上げて答えを求め、その理由を説明することが十分にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さや重さを求めたり、表や棒グラフを読み取ったりする問題の正答率は目標値を上回っているが、説明をするような記述問題の正答率は低い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、いろいろな形に関する問題で四角形の性質や立方体にある平行な辺の理解が不十分である。 ・6年生は、面積・体積を求 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元表を正しく読み取り結論について考察する方法についての理解が不十分である。 ・表や折れ線グラフ、円グラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述式の中でも、説明を書くような問題になると無解答も多く、課題解決が難しいと感じていると考えられる。

<p>める問題など、図形の理解が不十分である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例や単位量当たりの大きさについては、比例関係がどういふことかの理解はできているが、そこから割合を求めるといふことかの理解が不十分である。 	<p>フなどから情報を読み取ったり、比較をしたり、平均の出し方の理解が不十分である。</p>	
--	--	--

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・たし算ひき算かけ算の基礎計算力を維持するために、家庭学習や東っ子タイムで反復練習させる。 ・授業時間内に、常時活動として計算の練習問題に取り組みせ、定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を実際に操作しながら思考する機会を多く設ける。 ・文章問題を読み解くことが苦手な児童が多いため、文章を読んで、場面を絵や図に表して考える機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・九九修行、十ます、百ます計算など、得意な子も苦手な子も、自分の成長を実感し、意欲を引き出せるような取り組みを行う。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算や単位換算について東っ子タイムを中心に定期的に練習する時間を設けて反復練習させる。 ・桁数が理解できるように、具体的な操作を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の時間を活用し、意味を児童に説明させながら確認する場を設ける。 ・文章問題に触れる機会を増やし慣れさせる。その際に文章中の大事な言葉に線を引かせ、題意を的確に捉えられるように指導する。 ・文章問題を簡易的な図に表す機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学習や補習の時間などを使って個々に指導することにより苦手意識を減らしていく。 ・事前にテストの問題の形式に慣れさせる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・補習、東っ子タイムの時間を活用し、学習したことを反復させることにより理解の深まりと定着を図る。 ・少人数による学習を生かし、既習事項を取り上げて復習する機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文から必要な情報を整理し、数直線や図に表すことで、正確に立式できるように指導する。 ・グラフや比例関係を読み取る際は、友達と意見を交流したり自分の考えを説明したりする場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述式の問題は事前に解き方を全体で共有し、どのように記述式問題を解けばよいか理解を深め、苦手意識を減らし自信を付けさせていく。